

平成23年度事業報告書

事業の概要

平成23年度は、次の事業を実施した。

1. メンタルヘルスの集い(第26回日本精神保健会議)の開催

現在、学校ではさまざまな問題が指摘されている。はたして今の子どもたちはどうなっているのか。また、子どもたちだけではなく、彼らを支えるはずの教師や保護者の姿かたちも覚束なくなっていることが指摘されている。現在の子どもたちの姿を描き出すとともに、成育環境である学校や家庭を含めた問題点、現状、今後の課題と対応を探るフォーラムを開催した。本フォーラムは健康や命を守る医療の活動事業として(財)JKAより競輪公益資金の補助を得て実施した。

日 時：平成24年3月3日 10:15～16:00

場 所：有楽町朝日ホール

テーマ：つながり合い、ささえ合い！

～子どもたちは、今～

内 容：特別講演「コミュニケーション教育の現在」

平田 オリザ（劇作家、演出家、大阪大学教授）

シンポジウム「子どもたちは学校に何を求めているのか」

〈シンポジスト〉

松本俊彦（国立精神・神経医療研究センター）

幸地園枝（元都立新宿山吹高校養護教諭）

真金薫子（東京都教職員互助会三楽病院精神神経科）

柴山陽子（川崎市市民・こども局こども家庭センター）

〈コーディネーター〉

牛島定信（財団法人日本精神衛生会理事）

村瀬嘉代子（一般社団法人日本臨床心理士会会長）

参加者：230名

2. 精神保健シンポジウムの開催

全国の主要都市において、その地域の精神保健関連団体と共催で、地域が直面する精神保健に関する課題をテーマにシンポジウムを開催しているが、本年度は下記のとおり実施した。

①第59回精神保健シンポジウム（長崎）

日 時：平成23年9月11日 12:30～16:00

会 場：長崎大学医学部記念講堂

共 催：長崎大学医学部医学科精神神経科学教室（小澤寛樹教授）

テーマ：大人の発達障害～自分らしく生きるには～

内 容：シネマ・ミーツ・サイキアトリー&ミュージック
発達障害を題材とする映画のシネマトーク
題材作品「レインマン」「アイ・アム・サム」「マラソン」「モーツ
ァルトとクジラ」
対 談 小澤寛樹×塚田恵子（NBC長崎放送アナウンサー）
ピアノ 大野陽子
特別講演「大人のアスペルガー」
加藤進昌（昭和大学医学部教授・附属烏山病院院長）
シンポジウム「大人発達障害について考える」
岩永竜一郎（長崎大学医学部保健学科准教授）
崎美佐子（長崎県発達障害者支援センター係長）
須藤康宏（公立相馬病院臨時精神科）
コメンターター 加藤進昌
司会 今村 明（長崎大学医学部精神科神経科准教授）

参加者：252名

②第60回精神保健シンポジウム（桶川）

日 時：平成24年1月14日 13:00～16:00

会 場：さいたま文学館文学ホール

共 催：社団法人埼玉県精神保健福祉協会（山内俊雄会長）

テーマ：災害時のこころのケア～どう備え、どう対応するか～

内 容：特別講演

「こころのケアシステムをどう作っていくかー現状と課題ー」

福島 昇（新潟市こころの健康センター所長）

シンポジウム「東日本大震災での経験を活かして

～心のケアシステムはどうあるべきか～

指定発言「災害弱者をケアする立場から

～福祉避難所を運営して～

齋藤栄樹（仙台市宮城野障害者生活支援センターハンズ宮城野）

シンポジスト

有馬理恵（保健師の立場から 川越市総合保健センター）

菅野 隆（医師の立場から 東武中央病院）

花村温子（臨床心理士の立場から 埼玉社会保険病院）

総合討論

コメンターター 福島 昇

司 会 山内俊雄（社団法人埼玉県精神保健福祉協会）

総合司会 小島卓也（財団法人日本精神衛生会理事・大宮厚生病院）

参加者：81名

3. 広報誌「心と社会」の発行

今日の精神保健福祉が直面する重要課題を取り上げるとともに、国内や海外の精神保健福祉に関する最新情報を内容とする「心と社会」を次のとおり発行した。なお145号と146号は健康や命を守る医療の活動事業として(財)JK Aより競輪公益資金の補助を得て各600部を追加発行した

- ① 144号(平成23年6月15日発行) 144頁 2,000部
特集 メンタルヘルスの集い(第25回日本精神保健会議)
「支えられて(手)、支えて(手)～家族が求める家族支援～」
- ② 145号(平成23年9月20日発行) 120頁 2,600部
特集 震災に伴う心のケア
- ③ 146号(平成23年12月15日発行) 144頁 2,600部
特集 第59回精神保健シンポジウム(長崎)
「大人の発達障害～自分らしく生きるには～」
- ④ 147号(平成24年3月16日発行) 144頁 2,000部
特集 第60回精神保健シンポジウム(桶川)
「災害時のこころのケア～どう備え、どう対応するか～」

4. 精神保健福祉関係冊子の出版

① 学校とメンタルヘルスに関連した問題を取り上げる「こころの健康シリーズV 学校とメンタルヘルス」(B5判8頁)を以下のように発行した。発行後ホームページに掲載した。

- No.5 災害にさらされた子どもの心とその支援—大人や学校はどうささえるか—
帝京大学准教授 元永拓郎 著
平成23年6月発行 3,000部
- No.6 子どもの時間意識を育てる—今を大切に生きる方—
中央大学文学部教授 都筑 学 著
平成23年9月発行 3,000部
- No.7 最近の教師のメンタルヘルス
東京都教職員互助会三楽病院・教職員総合健康センター 溝口るり子 著
平成23年12月発行 3,000部
- No.8 いじめ問題の今
埼玉大学教育学部 教育心理カウンセリング講座 坂西友秀 著
平成24年3月発行 3,000部

5. ホームページの内容を充実し、精神保健に関する情報を豊富にして、社会の啓発、精神障害への偏見是正に資した。

6. 日本精神保健福祉連盟の一員として国内の精神保健福祉諸団体と協力した。また、広報誌「心と社会」の海外ニュース欄にて世界の精神保健関連情報を紹介した。さらにWF MH日本支部と情報交換を行った